



毎日気温が高い日が続いています。暑さで体力を消耗した体は、しっかり休めないと体調を崩してしまいます。夏は楽しいイベントも多いので、たっぷり睡眠をとって元気に過ごしましょう。また先月末より未満児、年少クラスを中心に風邪症状による欠席者が増えています。お子様の体調をよくみていただき、気になる症状がみられたら、早めに受診しましょう。

今月の目標:夏の感染症に気をつけましょう



【ヘルパンギーナ】

*原因

コクサッキーウイルス A 群などに飛沫感染することで発症

*症状

高熱、のどの痛みが特徴。のどに水疱や潰瘍ができて痛みがひどく、乳児の場合はミルクが飲めなくなるほどに

*対応

のどの痛みは、熱が下がってからも続くことがある。熱やのどの痛みがあるうちは安静に過ごしましょう。

【咽頭結膜熱(プール熱)】

*原因

アデノウイルスによる飛沫感染。目やにや便からうつることも。プールの水を介して感染することがあるので「プール熱」と呼ばれる。

*症状

39℃以上の発熱と、のどの痛みがあり、目のかゆみ、痛み、充血、涙など、結膜炎のような症状がでるのが特徴。

*対応

感染したら、症状がなくなってから2日経過するまでは登園停止。自宅で安静に過ごしましょう。

【手足口病】

*原因

コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。排泄された便から感染することもあります。

*症状

手のひらや足の裏、口の中に小さな水疱や赤い発疹ができ、熱が出ることも。

*対応

3～5日で治る。元気があって医師の判断で登園はできるが、まれに髄膜炎などの合併症を起こすこともあります。

【とびひ】

*原因

虫刺されや湿疹をかきむしったあとに黄色ブドウ球菌が感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。

*症状

皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することもある。

*対応

主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つこともたいせつ。患部をガーゼなどで覆って登園するようにしましょう。プールに入る場合は医師の判断を仰ぎましょう。

※プール熱(咽頭結膜熱)に罹患した場合は、完治して再び登園する際は登園許可証が必要です。

※ヘルパンギーナ、手足口病、とびひは医師の判断によっては登園許可証の提出が必要になります。

